

## 外科 初期研修カリキュラム

### I 目標 (GIO)

入院患者では、主に消化器外科患者の一般初期診療、外来患者では急性腹症や外傷を中心に初期診療を行えるようになる。

### II 行動目標 (SBOs)

1. 急性腹症の初診の問診、身体的診察、検査計画の立案ができる。
2. 検体検査(採血、採尿その他)結果の意味と、解釈および治療の方向性を決定できる。
3. 腹部超音波検査を独力で行うことができる。
4. 腹部 CT および、MRI の読影を行うことができ、異常所見を指摘できる。
5. 患者と診察、結果の説明などのコミュニケーションがとれる。
6. 基本的な外科手技が行えるようになる。
  - 1) 消毒、包交
  - 2) 末梢ライン確保
  - 3) FAST
  - 4) 胸腔穿刺、腹腔穿刺(指導医指導のもと)
  - 5) 中心静脈ライン確保(指導医指導のもと)
7. 低難易度消化器外科手術の術式を説明できる。
  - 1) 虫垂切除術
  - 2) 鼠径、大腿ヘルニア根治術
  - 3) 痔核根治術
8. 救急、および急性腹症疾患の治療ガイドラインを説明できる。
  - 1) 急性膵炎
  - 2) 急性胆のう炎、急性胆管炎

### III 方略

- ・受け持ち患者は 10 名程度で、朝夕の回診、病棟業務を主体的に行う。
- ・回診:朝夕(土日を含めて)2 回
- ・救急患者の診察:適宜。プライマリーコールの時は、初診を行う。
- ・緊急手術:原則、全例手術に入る。
- ・外科カンファランス:月、木、週 2 回
- ・内科外科合同カンファランス:月、週 1 回